♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

１月に宇久井半島で見られるなかまたち！

「カモ科　カルガモ」
留鳥または冬鳥。全長 61cm。雌雄同色。くちばしは黒く先が黄色、足は赤橙色で目立ちます。千尋の浜で見られます。

☆「ヒヨドリ科　ヒヨドリ」☆
留鳥。全長 28cm。雌雄同色。「ヒーヨ」「ピーヨ」と甲高く鳴きます。

☆「モクレン科　オガタマノキ」☆
常緑高木で直径 3cm ほどの花が咲いています。玄関周りに植栽されている木は背が低く観察しやすいです。

☆「ツバキ科　ヤブツバキ」☆
園芸品種の基本種となっています。自然塾では、この花びらを使って 2 月に染体験を行います。

☆「トベラ科　トベラ」☆
暖地の海岸に多い常緑低木。赤く粘った種は、鳥のくちばし等について運ばれると言われています。

☆「タブノキの冬芽」☆
赤みがかった大きな芽が目立ちます。春になり冬芽が開くと新しい枝、葉花序がいっせいに伸びだします。

☆「サクラソウ科　マンリョウ」☆
林下に生える常緑小低木です。実は葉の下に幹を囲むようにつけます。古典園芸品種のひとつです。

☆「サクラソウ科　ツルコウジ」☆
暖地の林下に生える常緑小低木です。全体的に柔らかい毛があり、地上を這い群生します。

☆「カズラの種子」☆
園地のあちこちに綿毛が落ちています。主にサカキカズラとテイカカズラの種子です。

☆印はビジターセンターの施設周辺でも観察できる可能性が高いです♪

寒い日が続いていますね。
1 月 20 日は「大寒」です。厳寒の中、植物たちは、じっと耐えながら春に芽吹く準備をしています(^^♪　冬芽などを観察しながら園地を散策してみませんか(^^♪

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2019 年 1 月後半号
宇久井ビジターセンター

吉野熊野国立公園

宇久井半島見どころマップ 冬版